

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	6010	(H.27)No.	6010
-----------	------	-----------	------

事務事業名	IT利活用システム運用管理事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	情報政策室	中野 雅夫	

会計区分	事業コード	022501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	IT利活用システム運用管理事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 IT推進事業費	IT利活用システム運用管理事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	2	市民志向のサービス提供
	施策	1	質の高いサービス
	小施策	3	電子市役所の実現
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
・住民基本台帳、戸籍、税、保健等行政サービスへの基盤となる住民情報関連システムを安定的に運用します。 ・統合型行政内部情報システムの運用により、財務会計、文書管理等行政事務の効率的な執行を確保します		
事業内容		
・総合住民情報システム、戸籍システム等住民情報関連システム(約50システム)の運用管理及び稼働維持 ・住民基本台帳法等改正に伴う住民情報関連システムの改修及び機器更改 ・上記システムに係る機器及びパッケージソフト賃貸借 ・保険証、税納付書などの印刷及び出力作業 ・統合型行政内部情報システムの運用管理 ・市ホームページ等Webサイト環境等の運用管理		

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	総合住民情報システム及び統合型行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用	総合住民情報システム及び統合型行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用	総合住民情報システム及び統合型行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用(マイナポータル関係の運用費増想定)	総合住民情報システム及び統合型行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用(マイナポータル関係の運用費増想定)	総合住民情報システム及び統合型行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用(マイナポータル関係の運用費増想定)

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	268,967千円	304,394千円	315,000千円	315,000千円	315,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	30,737	30,000	30,000	30,000	30,000
地方債					
その他( )	5,911	6,595	6,000	6,000	6,000
一般財源	(0) 232,319	267,799	279,000	279,000	279,000
人工数					
職員	1.80人	1.83人	3.83人	3.83人	3.83人
臨時職員等	0.20人	0.50人	0.95人	0.95人	0.95人
②概算人件費	(0千円) 14,020千円	14,758千円	30,723千円	30,723千円	30,723千円
①+②総事業費	(0千円) 282,987千円	319,152千円	345,723千円	345,723千円	345,723千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
通常運用に努めるとともに、特に複数回にわたり電源システムのトラブルに見舞われ、窓口業務にも支障が出てしまいました。そのため、無停電電源装置の設定更新等、電源対策の強化にも取り組みました。	周辺システムの環境変化に伴い、運用継続を行うには整備・保守を継続して実施していく必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	本事業は、市の情報システムの運用事業であり、窓口サービス等の充実や電子市役所の実現を図る上で、大きく貢献しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
電子市役所の実現を図っている中で、最も重要な基盤維持の事業であります。今後、マイナンバー制度関係の運用経費も本事業で吸収していく必要があります。	